

プロロジス、茨城県古河市に「プロロジスパーク古河 1」、 「プロロジスパーク古河 2」の開発を決定



物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内)は、このたび茨城県古河市でビルド・トゥ・スーツ(BTS)型施設「プロロジスパーク古河 1」、「プロロジスパーク古河 2」の 2 棟の開発に順次着手する、と発表しました。

■ 開発予定地

「プロロジスパーク古河 1」、「プロロジスパーク古河 2」は首都圏から 50km 圏に位置し、現在整備が進む圏央道(仮)五霞 IC*から約 6km 地点にある、国道 4 号線による都心部へのアクセスが可能な北利根工業団地内に開発されます。この 2 棟のプロロジスパークは、ビルド・トゥ・スーツ(BTS)型施設として約 32,000 坪の土地を 2 区画に分けた隣接する敷地に立地する計画です。2014 年春以降に開通が予定されている(仮)五霞 IC*が完成すれば東北自動車道への乗り入れが可能となり、2015 年 4 月以降には、首都圏に放射状に通じている東名自動車道・中央自動車道・関越自動車道・東北自動車道・常磐自動車道・東関東自動車道の 6 つの高速道路へのアクセスが可能となります。これらの道路開通により、北関東エリアから出荷する商品を関東全域のみならず、東北方面や関西方面の消費地へ配送することが可能となる予定です。

* 未開通区間の IC であるため仮称

■ 施設計画概要

「プロロジスパーク古河 1」は約 16,300 坪の敷地に延床面積約 18,800 坪の施設として、「プロロジスパーク古河 2」は約 15,700 坪の敷地に延床面積約 16,800 坪の施設として、どちらも地上 2 階建てで開発する予定です。また、プロロジスがグローバルで推進している再生可能エネルギーの積極的活用に基づき、全国 8 棟の施設に合計約 10 メガワットの太陽光発電システムを導入し発電を開始したことに続いて、「プロロジスパーク古河 1」および「プロロジスパーク古河 2」にも施設屋根面への太陽光パネル設置

を検討しています。

「プロロジスパーク古河 1」計画概要

名 称	プロロジスパーク古河 1
所 在 地	茨城県古河市北利根
計画敷地面積	約 54,000 m ² (約 16,300 坪)
計画延床面積	約 62,000 m ² (約 18,800 坪)
構 造	地上 2 階建
着工予定	2013 年
竣工予定	2014 年

「プロロジスパーク古河 2」計画概要

名 称	プロロジスパーク古河 2
所 在 地	茨城県古河市北利根
計画敷地面積	約 52,000 m ² (約 15,700 坪)
計画延床面積	約 55,000 m ² (約 16,800 坪)
構 造	地上 2 階建
着工予定	2014 年
竣工予定	2015 年

プロロジスは、日本の各地域においてお客様の物流効率化のニーズにお応えすべく、今後も物流施設の開発を進めてまいります。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム
https://f.msgs.jp/webapp/form/11859_dor_73/index.do